

しもながや

横浜市立下永谷小学校

向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷

学校長 関谷 道代

「〇年〇組、いただきます！」

「今日のチリコンカーンおいしすぎて、ほっぺが落ちちゃうよ。」「え～！」「大丈夫。落ちたら校長先生、ほっぺ拾いに行くから。」

昼時になると、給食を取りに来る子どもたちのあいさつの声で給食室がにぎわいます。

給食当番には、大きなおかずや小さなおかず、食器、パンご飯、牛乳など、それぞれ自分の役割があり、一人で運ぶものや二人一組で運ぶものがあります。

食器は重いので二人で力を合わせて運びます。左の子どもがほんの少し背が高いので、一方がまっすぐ手をのばして持つと食器が傾きます。そうならないように、歩きながら、腕の角度を変えて調節しながら歩いている後ろ姿がありました。時々、「このくらいの高さ？」とでも言わんばかりに顔を見合わせています。何とも、あたたかい気持ちになりました。



4月19日(金)は、授業参観・学校説明会・懇談会にたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

本校の学校教育目標は「向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷」です。下永谷小学校は、「人とのかかわり」の中で育つことを大切にしています。向き合うことで、相手や周囲に視点を広げます。相手のためにできることを工夫します。相手のよさを見付けて、認めます。自分と違う考え方を理解しようとしています。

また、各学年の大切にしたい考え方の中に、すべて「人とのかかわり」に関する言葉が入っていました。748名の子どもたちが、子ども同士、様々な形でかかわりながら学び合います。

人は人の中で育ちます。クラスの友達、学年の仲間、ペア学年の関わり、登校班のメンバー。さらには、毎日登下校を見守ってくださる「木の実サポーター」の方々、保護者の方々。多いときは一日に150名近くの子どもの受け入れてくださるキッズのスタッフ。本校の子どもたちが遊ぶ姿をあたたかく見守ってくださる地区センターの方々。月に2回「勉強を楽しむ会」を実施し、ほほえましい様子を伝えてくださる地域ケアプラザの方々。

「多くの大人とかかわり、子どもは地域全体で育てる」の発想で、学校運営協議会もさらなる充実を図ります。地域の教育力や教育資源を最大限生かす取組になるよう、大人同士も向き合う、学び合うことをこれからも大切にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

食器を運ぶ子どもたちの「相手と高さを合わせよう」と、無意識のうちに行っていた互いを気遣う行動や互いを思いやる気持ちから、どんな育ちが展開されるのか楽しみです。そこから生まれる「向き合って学び合う」心の在りようをこれからも見守ります。5月もどうぞよろしくお願いいたします。

2024 下永谷小グランドデザイン

学校教育目標 **向き合って、学び合って、未来をつくる下永谷**

<p>国</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日本国憲法 ◆教育基本法 ◆学校教育法 ◆学習指導要領 ◆全国学習状況調査 ◆小学校学習指導要領 ◆令和の日本型学校教育 <ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学び ・協働的な学び ◆GIGA スクール構想 	<p>知</p> <p>自ら問題を見付け、進んで考え、表現する子どもを育てます。</p>	<p>徳</p> <p>自分のよさに気付き、たくましく生きる子どもを育てます。</p>	<p>体</p> <p>心と体を鍛え、自己の命を大切にすることを育てます。</p>	<p>公</p> <p>人や自然と関わり、人や自然にやさしい子どもを育てます。</p>	<p>開</p> <p>コミュニケーションを大切に、広い視野をもって行動できる子どもを育てます。</p>	<p>横浜市基本構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆横浜市教育ビジョン2030 ◆横浜版学習指導要領 ◆未来を担う横浜の子どもの姿「知」「徳」「体」「公」「開」 ◆横浜市教育振興基本計画 ◆教育大綱 ◆横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領 ◆人材育成指標
<p>横浜教育ビジョン 2030</p> <p>自ら学び、社会とつながり、ともに未来を創る人</p>						

互いに 向き合って、学び合う学校

幼小中連携

- ◆幼保小担当者会
- ◆幼保小交流会
- ◆小中一貫カリキュラム
- ◆小中合同研修・研究会
- ◆小中交流会

チーム学年経営

互いに認め合い（個性尊重）、互いに個性を出し合い（挑戦）、互いに助け合って（協力）、ともに高め合う（成長）姿。

6年

ひまわりのような笑顔の子
まわりのみんなを大事にする子
わくわくチャレンジががんばる子
理解するまで取り組む子

5年

みとめあいができるのひのびチャレンジ
リードできる5年生

4年

友達とのかかわりの中でお互いを大切にすること、協力することの楽しさを学ぶ。
今の自分より少しも成長するために小さい挑戦の繰り返しを大切ににする。
今こそ基礎、基本を大切に、高学年への確実な準備をする。

3年

サン3スマイル
自分も友だちも大切にしよう。
進んで色々なことにチャレンジしよう。
みんなで助け合って最後までやりとげよう。

2年

ピース
みんなが笑顔で生活できるようにします。
友達のよいところを見つけ、仲良く生活できるようにします。
話をしっかり聞き、進んで自分の思いを表現するようにします。
ルールを守り、元気いっぱい遊ぶようにします。

1年

あいさついっぱい
さわやかにここが
がんばるきもち
おどもだとなかよく

教育活動のサポーター

- ◆木の実サポーター
- ◆交通安全指導員
- ◆特別支援教育支援員
- ◆アシスタント・ティーチャー

専門機関連携

- ◆学校医
- ◆療育センター
- ◆スクールサポーター・警察
- ◆特総センター
- ◆少年相談保護センター
- ◆児童相談所
- ◆こども家庭支援課
- ◆スクールカウンセラー
- ◆スーパーバイザー
- ◆スクールソーシャルワーカー

生活・支援

- ・相手意識をもつ
- ・進んであいさつ
- ・自分を律する態度
- ・人を思いやるやさしさ

学校の決まりの確認
いじめ防止対策会議
YPアセスメント

研究推進

- ・合科的、横断的な豊かな学び
- ・考えを伝え合う力
- ・主体的に考え、意欲的に学び続ける力

研究の全体的な推進

学習環境

- ・ネイチャーワールドの活用
- ・ごみの分別推進
- ・ヘア活動落ち葉拾い
- ・腐葉土の作成
- ・地域の人材活用
- ・木の実サポーター感謝の会

評価・教育課程

- ・あゆみに関すること
- ・自己評価カードの見直し
- ・自分づくりパスポート

家庭連携

- ◆PTA活動
- ◆保護者によるお手伝い
- ◆校外委員による登校班の見守り
- ◆家庭学習

施設連携など

- ◆地域ケアプラザ
- ◆地区センター

地域連携

- ◆町内会
- ◆自治会
- ◆主任児童委員
- ◆民生委員
- ◆放課後キッズクラブ
- ◆学童

チーム学年経営・授業改善
～教科等を貫く汎用的能力～

学年協力体制

一人の子どもを複数で
◆特別支援協力体制
児童支援専任・特別支援コーディネーター

特別支援

自己を見つめ、多角的、多面的にとらえる

なかよし活動

1-6年 2-4年 3-5年
ペア学年で遊ぶなかよしDay

情報

授業での効果的なICT活用
情報モラル（家庭との連携）
タブレットの持ち帰りに向けて

保健・安全

自分の命は自分で守る避難訓練
交通安全教室
不審者対応訓練

学力向上アクションプラン

豊かな心の育成推進プラン

健やかな体の育成プラン

学校運営協議会(年間3回予定)

PDCA型学校運営

学校評価で日々改善

学校だより「すぐーる」発信 学校説明会・報告会
児童・保護者・教職員アンケート 学年・学級懇談会
教職員・学校運営協議会委員アンケート 授業評価